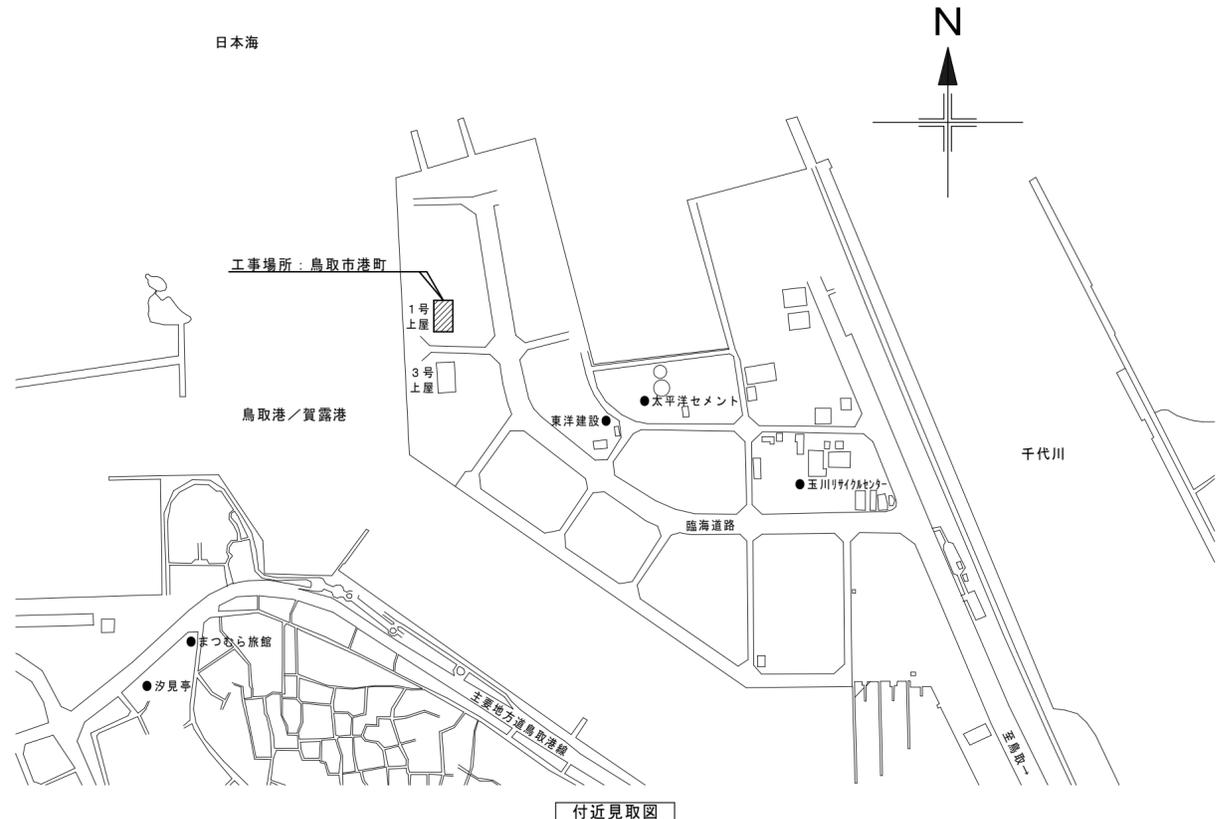
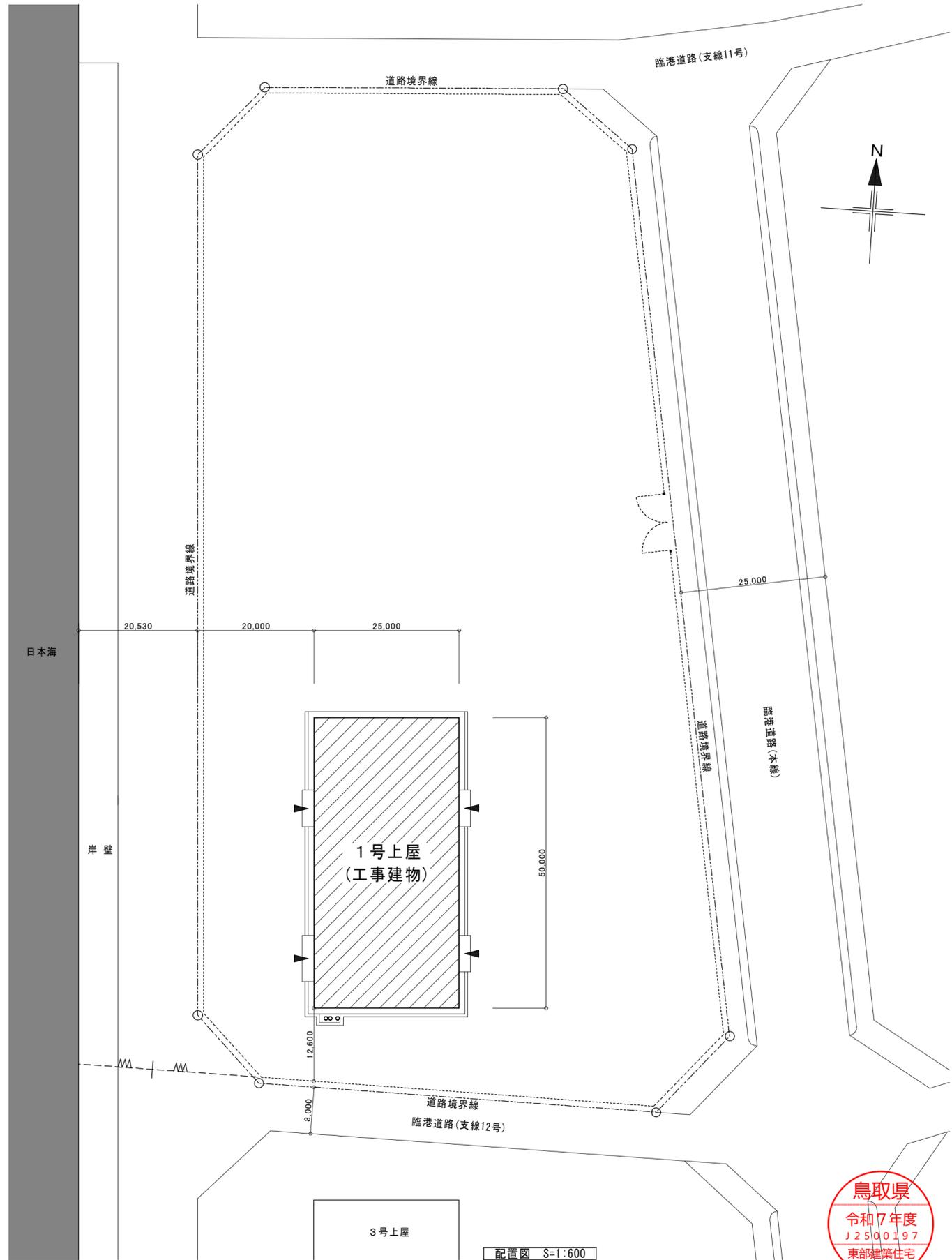


<p>⑤ 建具改修工事</p> <p>① 改修工法 [5. 1. 3]</p> <p>2 防火戸 [5. 1. 4]</p> <p>3 建具見本の製作 [5. 1. 5]</p> <p>4 防犯建物部品 [5. 1. 7]</p> <p>5 アルミニウム製建具 [5. 2. 2~5] [表5. 2. 2]</p> <p>6 網戸等 [5. 2. 3] [5. 3. 3]</p> <p>7 樹脂製建具 [5. 2. 2] [5. 3. 2~5]</p> <p>8 鋼製建具 [5. 2. 2] [表5. 4. 2~4] [表5. 4. 2]</p> <p>9 鋼製軽量建具 [5. 2. 2] [5. 5. 2~4]</p> <p>10 ステンレス製建具 [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~5]</p>	<p>建具の種類</p> <p>・アルミ製建具</p> <p>・樹脂製建具</p> <p>○樹脂製建具 (0枠)</p> <p>○外部</p> <p>・内部</p> <p>・鋼製軽量建具</p> <p>・ステンレス製建具</p> <p>新規に建具を設ける場合</p> <p>壁部分の開口の開け方 ※図示</p> <p>新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示</p> <p>・適用する 指定箇所 (※建具表による)</p> <p>防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動</p> <p>※連動させる 適用場所 (・建具表による)</p> <p>・連動させない</p> <p>※製作しない</p> <p>・製作する (納まり等が分かる程度のもの)</p> <p>・適用する 適用箇所 (※建具表による)</p> <p>性能等級</p> <p>・耐風圧等の等級 ()</p> <p>・気密等の等級 ()</p> <p>・水密性の等級 ()</p> <p>※改修標準仕様書5.2.1による種別</p> <p>外部に面する建具</p> <p>・A種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による)</p> <p>・B種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による)</p> <p>・C種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による)</p> <p>防音ドア、防音サッシ</p> <p>遮音性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ</p> <p>断熱性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による)</p> <p>耐震ドアセット</p> <p>・面内変形追随性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ・ 建具表による)</p> <p>ステンレス鋼板の材料 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1</p> <p>枠の見込み寸法 ※建具表による</p> <p>表面処理</p> <p>外部に面する建具 種別</p> <p>・BB-1種</p> <p>・BB-2種</p> <p>着色 ※標準色 ()</p> <p>・特注色 ()</p> <p>屋内の建具 種別</p> <p>・BC-1種</p> <p>・BC-2種</p> <p>着色 ※標準色 ()</p> <p>・特注色 ()</p> <p>結露水の処理方法 ※図示</p> <p>水切り板、ぜん板 ※図示</p> <p>※製造所 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿に記載されている製造所</p>	<p>11 建具用金物 [5. 8. 2. 3]</p> <p>金物の種類・見え掛り部の材質等</p> <p>金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書 表5.8.1及び適用は建具表による</p> <p>金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書 表5.8.2Cによる</p> <p>樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書 表5.8.3Cによる</p> <p>握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・建具表による</p> <p>・錠前類 (シリンダー錠及びシリンダー本締り錠)</p> <p>(品質)</p> <p>デッドボルトの寸法は17mm以上とする。 鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。</p> <p>(性能)</p> <p>使用頻度による 性能</p> <p>1) (シリンダー錠のみ) ラッチボルトの閉鎖繰り返し試験 (40回) を行った後、ハンドルでの閉鎖操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。</p> <p>2) キーによるデッドボルトの施錠繰り返し試験 (10万回) を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠操作に支障がない。(シリンダー本締り錠のみ) シリンダー単体の施錠繰り返し試験の評価は、シリンダーだけの回転トルクが10N・cm以下とする。</p> <p>3) キーによる施錠機構の施錠繰り返し試験 (10万回) を行なった後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠操作に支障がない。</p> <p>4) キーの抜き差し繰り返し試験 (10万回) を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10 N以下であり、未使用の合鍵でシリンダーが回転でき、かつ、1箇所1段差深い刻みをもつ異なるキーでは、シリンダーが回転しないこと。(キーに加えるトルクは、150N・cmとする)</p> <p>外力に対する性能</p> <p>1) デッドボルトの押込み強度試験 (10KN) を行った後、荷重を除いたときのデッドボルトの寸法は8mm以上であること。</p> <p>2) デッドボルトの側圧強度試験 (10KN) を行った後、加圧板がデッドボルトを通過しない。</p> <p>3) デッドボルトの押込み強度 (衝撃荷重) 試験 (58.8J) の衝撃荷重を加えたとき、解放状態 (デッドボルトの突出量が8mm未満) にならないこと。</p> <p>4) デッドボルトの側圧強度 (衝撃荷重) 試験 (58.5J) の衝撃荷重を加えたとき、解放状態 (加圧板がデッドボルトを通過した状態) にならないこと。</p> <p>5) (シリンダー本締り錠はグレード3以上の那込錠の場合) ストライクプレートの厚さ1.5mm以上のステンレス鋼製とし、トロボケは厚さ1.6mm以上の鋼板の一体構造とする。又はストライクの強度と同等以上の強度を持つものとする。</p> <p>使用頻度の質量に対する性能 (シリンダー錠のみ)</p> <p>1) ラッチボルトの側圧強度試験 (4KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。</p> <p>2) レバーハンドルのねじり強度試験 (3.5KN・cm) を行った後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。</p> <p>3) 握り玉のねじり強度試験 (3KN・cm) をおこなった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。</p> <p>4) ハンドルの引張強度試験 (2KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。</p> <p>5) ハンドルの垂直荷重強度試験 (2KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。</p> <p>錠</p> <p>1) かぎ (鍵) 数は、1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ (鍵) 違い数とみなさないものとする。</p> <p>2) 同一タンブラーの使用数は、60%以下とする。また、6本タンブラーにおいては、キーの同一刻みは、最大2連続までとしていること。</p> <p>・錠前類 (レバーハンドル)</p> <p>・錠前方法は、JIS A 1541-1 (建築金物-錠-第1部: 試験方法) による。</p> <p>引張り強度</p> <p>ハンドルの引張強度試験 (2KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。試験方法は、JIS A 1541-1-2006及びJIS A 1541-1 (建築金物-錠-第1部: 試験方法) による。</p> <p>垂直荷重強度</p> <p>ハンドルの垂直荷重強度試験 (2 KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。試験方法は、JIS A 1541-1 (建築金物-錠-第1部: 試験方法) による。</p> <p>・クローザー類 (品質・性能)</p>	<p>12 錠 [5. 8. 4]</p> <p>マスターキー</p> <p>・製作する ()</p> <p>・製作しない</p> <p>・既存に組み込む</p> <p>錠の製作本数 ※各室3本1組 (室名札付き)</p> <p>錠類</p> <p>・設ける ()</p> <p>・設けない</p> <p>13 自動ドア開閉装置 [5. 9. 2. 3]</p> <p>引き戸用駆動装置</p> <p>性能</p> <p>・</p> <p>※改修標準仕様書 表5.9.1による</p> <p>種類</p> <p>・SSL-1</p> <p>・SSL-2</p> <p>・DSL-1</p> <p>・DSL-2</p> <p>車椅子使用者用便所出入口 引き戸用駆動装置</p> <p>性能</p> <p>・</p> <p>※改修標準仕様書表5.9.2による</p> <p>引き戸用検出装置の種類及び必要な項目</p> <p>引き戸用検出装置</p> <p>性能</p> <p>※改修標準仕様書表5.9.3による</p> <p>種類</p> <p>・光線 (反射) センサー</p> <p>・熱線センサー</p> <p>・音波センサー</p> <p>・光電センサー</p> <p>・電波センサー</p> <p>・タッチスイッチ</p> <p>・押しボタンスイッチ</p> <p>タッチスイッチの種類</p> <p>・無接点タッチスイッチ</p> <p>・光線式タッチスイッチ</p> <p>車椅子使用者用便所スイッチの種類</p> <p>・大型 (開・閉) 押しボタンスイッチ</p> <p>・非接触式スイッチ</p> <p>戸の開閉方式 ※建具表による</p> <p>防錆</p> <p>・適用する</p> <p>・適用しない</p> <p>凍結防止措置</p> <p>・適用する</p> <p>・適用しない</p> <p>性能等 ※改修標準仕様書5.10.3による</p> <p>(試験方法)</p> <p>(1) 耐久性 (閉鎖繰り返し) 試験 閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開閉位置から閉鎖位置までの作動を確認できる試験を行う。</p> <p>同試験に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。</p> <p>適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点で1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性試験成績書において2万回以上の耐久性を確認することで、試験に代えることができるものとする。</p> <p>(2) 耐衝撃性試験 落下高さ17cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。</p> <p>耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。</p> <p>適用戸総質量の区分毎に試験を行う。</p> <p>(3) 気密性能試験 JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による。</p>	<p>14 自閉式上吊り引戸装置 [5. 10. 3]</p> <p>性能等 ※改修標準仕様書5.10.3による</p> <p>(試験方法)</p> <p>(1) 耐久性 (閉鎖繰り返し) 試験 閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開閉位置から閉鎖位置までの作動を確認できる試験を行う。</p> <p>同試験に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。</p> <p>適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点で1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性試験成績書において2万回以上の耐久性を確認することで、試験に代えることができるものとする。</p> <p>(2) 耐衝撃性試験 落下高さ17cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。</p> <p>耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。</p> <p>適用戸総質量の区分毎に試験を行う。</p> <p>(3) 気密性能試験 JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による。</p>	<p>15 重量シャッター [5. 11. 2. 3]</p> <p>シャッターの種類</p> <p>○管理用シャッター</p> <p>・外壁用防火シャッター</p> <p>・屋内用防火シャッター</p> <p>・防煙シャッター</p> <p>外部開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 (1200) Pa</p> <p>開閉方式の種類 ※ 電動式 (手動併用) ・ 手動式</p> <p>急降下制御装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所</p> <p>※図示</p> <p>障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所</p> <p>※図示</p> <p>○改修建具全て</p> <p>屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構の設置箇所</p> <p>※図示</p> <p>適用する危害防止機構 ※改修標準仕様書5.10.2(4)(a)かつ(b)</p> <p>※改修標準仕様書5.10.2(4)(a)(b)かつ(b)</p> <p>管理用シャッターのシャッターケース ○設ける</p> <p>・設けない</p> <p>スラット及びシャッターケース用鋼板</p> <p>鋼板の種類</p> <p>・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>○JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>めっきの付着量</p> <p>※Z12又はF12を満足するもの</p> <p>開閉形式の種類</p> <p>※手動式 ・ 電動式 (手動併用)</p> <p>耐風圧強度 () N/m²</p> <p>安全装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※図示</p> <p>スラットの材質の種類</p> <p>・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>めっきの付着量 ※Z06又はF06を満足するもの</p> <p>・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>めっきの付着量 ※AZ90を満足するもの</p> <p>スラットの種類</p> <p>※インターロック形状 ・ オーバーラッピング形状</p> <p>シャッターケース</p> <p>※設ける</p> <p>・設けない</p> <p>ガイドレール (中柱共) の材質 ※ステンレス鋼板 (SUS304) 厚さ1.0mm</p> <p>産板の材質 (屋外の場合) ※ステンレス製既製品</p>	<p>17 オーバーヘッドドア [5. 13. 2. 3]</p> <p>セクション材料</p> <p>による区分</p> <p>風圧力による強さの区分</p> <p>開閉方式による区分</p> <p>収納方式による区分</p> <p>ガイドレールの材料</p> <p>※ステールタイプ</p> <p>・アルミニウムタイプ</p> <p>・ファイバーグラスタイプ</p> <p>・175(1750)</p> <p>・125(1250)</p> <p>・100(1000)</p> <p>・75(750)</p> <p>・50(500)</p> <p>※バランス式</p> <p>・チェーン式</p> <p>・電動式</p> <p>・スタンダード形</p> <p>・ローヘッド形</p> <p>・ハイリフト形</p> <p>・パーチカル形</p> <p>※溶融亜鉛めっき鋼板</p> <p>・ステンレス鋼板</p> <p>障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所 ※図示</p> <p>18 木製建具 [5. 7. 2~4]</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 ※A種</p> <p>建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※F☆☆☆☆</p> <p>・フラッシュ戸</p> <p>表面材の合板の品質等</p> <p>合板の種類</p> <p>規格等</p> <p>備考</p> <p>・普通合板</p> <p>表面の樹種</p> <p>生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度)</p> <p>・不透明塗料塗り (※しな合板程度)</p> <p>・板面の品質 (・広葉樹1等)</p> <p>・接着の程度 (・1類 ・2類)</p> <p>・天然木化粧合板</p> <p>樹種名 ()</p> <p>・接着の程度 (・1類 ・2類)</p> <p>・特殊加工化粧合板</p> <p>化粧加工の方法</p> <p>(・オーバーレイ ・プリント ・塗装)</p> <p>表面性能 () タイプ</p> <p>・接着の程度 (・1類 ・2類)</p> <p>・ミディアムデンシティファイバーボード</p> <p>曲げ強さによる区分 ()</p> <p>(MDF)</p> <p>・接着剤による区分 ()</p> <p>・経年性による区分 ()</p> <p>表面材の厚さ ※改修標準仕様書5.7.6による</p> <p>・かまち戸</p> <p>かまち樹種 ()</p> <p>鋼板樹種 ()</p> <p>見込み寸法 ※30mm</p> <p>・建具表による</p> <p>・ふすま</p> <p>張り目の種別 (・I型 ・II型)</p> <p>上張り (押入等の裏側以外) ・鳥の子</p> <p>・新鳥の子又はビニル紙程度</p> <p>線仕上げ</p> <p>・塗り線</p> <p>・生地線 (無地)</p> <p>・生地線 (ウレタンリライナー塗装)</p> <p>見込み寸法 ※19.5mm</p> <p>・建具表による</p> <p>・戸ふすま</p> <p>見込み寸法 ※ 30mm</p> <p>・建具表による</p> <p>・紙張り障子</p> <p>見込み寸法 ※ 30mm</p> <p>・建具表による</p> <p>枠、くつずりの材料</p> <p>・建具表による</p> <p>※取付け調整は、1名以上の技能士が自ら作業するとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。</p> <p>19 ガラス [5. 14. 2~4]</p> <p>下記のガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類等</p> <p>・ 建具表による</p> <p>合わせガラスの材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類</p> <p>※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <th>材料板ガラスの種類、組合せ</th> <th>落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類</th> </tr> <tr> <td>・フロート板、フロート板合わせガラス</td> <td>・I類</td> <td>・II-1類</td> <td>・III類</td> </tr> </table> <p>強化ガラスの形状による種類、材料板ガラスの種類による名称及び特性による種類</p> <p>※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <th>材料板ガラスの種類による名称</th> <th>材料板ガラス</th> <th>破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類</th> </tr> <tr> <td>・フロート強化ガラス</td> <td>・フロート板ガラス</td> <td>・I類</td> <td>・II類</td> </tr> </table> <p>熱線吸収ガラスの材料板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類</p> <p>※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <th>材料板ガラスによる種類</th> <th>性能による種類</th> <th>色調</th> </tr> <tr> <td>・熱線吸収フロート板ガラス</td> <td>・1種</td> <td>・2種</td> <td>・グリーン</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収網入り層ガラス</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>層ガラスの材料板ガラスの種類、厚さの組合せ及び層ガラスの厚さ</p> <p>※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <th>断熱性による区分</th> <th>乾燥気体の種類</th> </tr> <tr> <td>・T1</td> <td>・T2</td> <td>・T3</td> <td>・T4</td> <td>・T5</td> <td>・T6</td> <td>・空気</td> <td>・アルゴン</td> </tr> </table> <p>日射取得性、日射遮蔽性による区分</p> <table border="1"> <tr> <th>乾燥気体の種類</th> </tr> <tr> <td>・G</td> <td>・S</td> <td>・空気</td> <td>・アルゴン</td> </tr> </table> <p>熱線反射ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さによる種類</p> <p>※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <th>材料板ガラスによる種類</th> <th>日射遮蔽性による区分</th> <th>耐久性による区分</th> </tr> <tr> <td>色調 (・ブルー ・グレー)</td> <td>・1種</td> <td>A類</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・2種</td> <td>A類</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・3種</td> <td>B類</td> </tr> </table> <p>反射鏡面</p> <p>・内面</p> <p>・外面</p> <p>映像調整</p> <p>・行わない</p> <p>・行う</p> <p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラスの留め材</th> <th>ガラス溝の大きさ (mm)</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>※シーリング材</td> <td>※建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ガスケット</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・グレイジングチャンネル形</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>※シーリング材</td> <td>※建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>※シーリング材</td> <td>※建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ガスケット</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・グレイジングチャンネル形</td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>※シーリング材</td> <td>※建具の製造所の仕様による</td> </tr> </table>	材料板ガラスの種類、組合せ	落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類	・フロート板、フロート板合わせガラス	・I類	・II-1類	・III類	材料板ガラスの種類による名称	材料板ガラス	破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類	・フロート強化ガラス	・フロート板ガラス	・I類	・II類	材料板ガラスによる種類	性能による種類	色調	・熱線吸収フロート板ガラス	・1種	・2種	・グリーン	・熱線吸収網入り層ガラス				断熱性による区分	乾燥気体の種類	・T1	・T2	・T3	・T4	・T5	・T6	・空気	・アルゴン	乾燥気体の種類	・G	・S	・空気	・アルゴン	材料板ガラスによる種類	日射遮蔽性による区分	耐久性による区分	色調 (・ブルー ・グレー)	・1種	A類		・2種	A類		・3種	B類	建具の種類	ガラスの留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	アルミニウム製	※シーリング材	※建具の製造所の仕様による		・ガスケット			・グレイジングチャンネル形		鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材	※建具の製造所の仕様による	ステンレス製	※シーリング材	※建具の製造所の仕様による		・ガスケット			・グレイジングチャンネル形		樹脂製	※シーリング材	※建具の製造所の仕様による
	材料板ガラスの種類、組合せ	落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類																																																																																		
	・フロート板、フロート板合わせガラス	・I類	・II-1類	・III類																																																																																
	材料板ガラスの種類による名称	材料板ガラス	破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類																																																																																	
	・フロート強化ガラス	・フロート板ガラス	・I類	・II類																																																																																
	材料板ガラスによる種類	性能による種類	色調																																																																																	
	・熱線吸収フロート板ガラス	・1種	・2種	・グリーン																																																																																
	・熱線吸収網入り層ガラス																																																																																			
	断熱性による区分	乾燥気体の種類																																																																																		
	・T1	・T2	・T3	・T4	・T5	・T6	・空気	・アルゴン																																																																												
乾燥気体の種類																																																																																				
・G	・S	・空気	・アルゴン																																																																																	
材料板ガラスによる種類	日射遮蔽性による区分	耐久性による区分																																																																																		
色調 (・ブルー ・グレー)	・1種	A類																																																																																		
	・2種	A類																																																																																		
	・3種	B類																																																																																		
建具の種類	ガラスの留め材	ガラス溝の大きさ (mm)																																																																																		
アルミニウム製	※シーリング材	※建具の製造所の仕様による																																																																																		
	・ガスケット																																																																																			
	・グレイジングチャンネル形																																																																																			
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材	※建具の製造所の仕様による																																																																																		
ステンレス製	※シーリング材	※建具の製造所の仕様による																																																																																		
	・ガスケット																																																																																			
	・グレイジングチャンネル形																																																																																			
樹脂製	※シーリング材	※建具の製造所の仕様による																																																																																		



付近見取図



配置図 S=1:600

■工事概要■
 ・1号上屋に計4か所ある電動重量シャッターのうち、2か所について撤去及び新設を行う。
 (取り合い部分の撤去、復旧などの付帯工事一式を含む)

■概略工事工程表

	1か月	2か月
準備工 承認図 シャッター製作	準備・現地確認・承認図 シャッター製作期間	
シャッター撤去・新設		撤去・新設
検査・後片付		検査・後片付

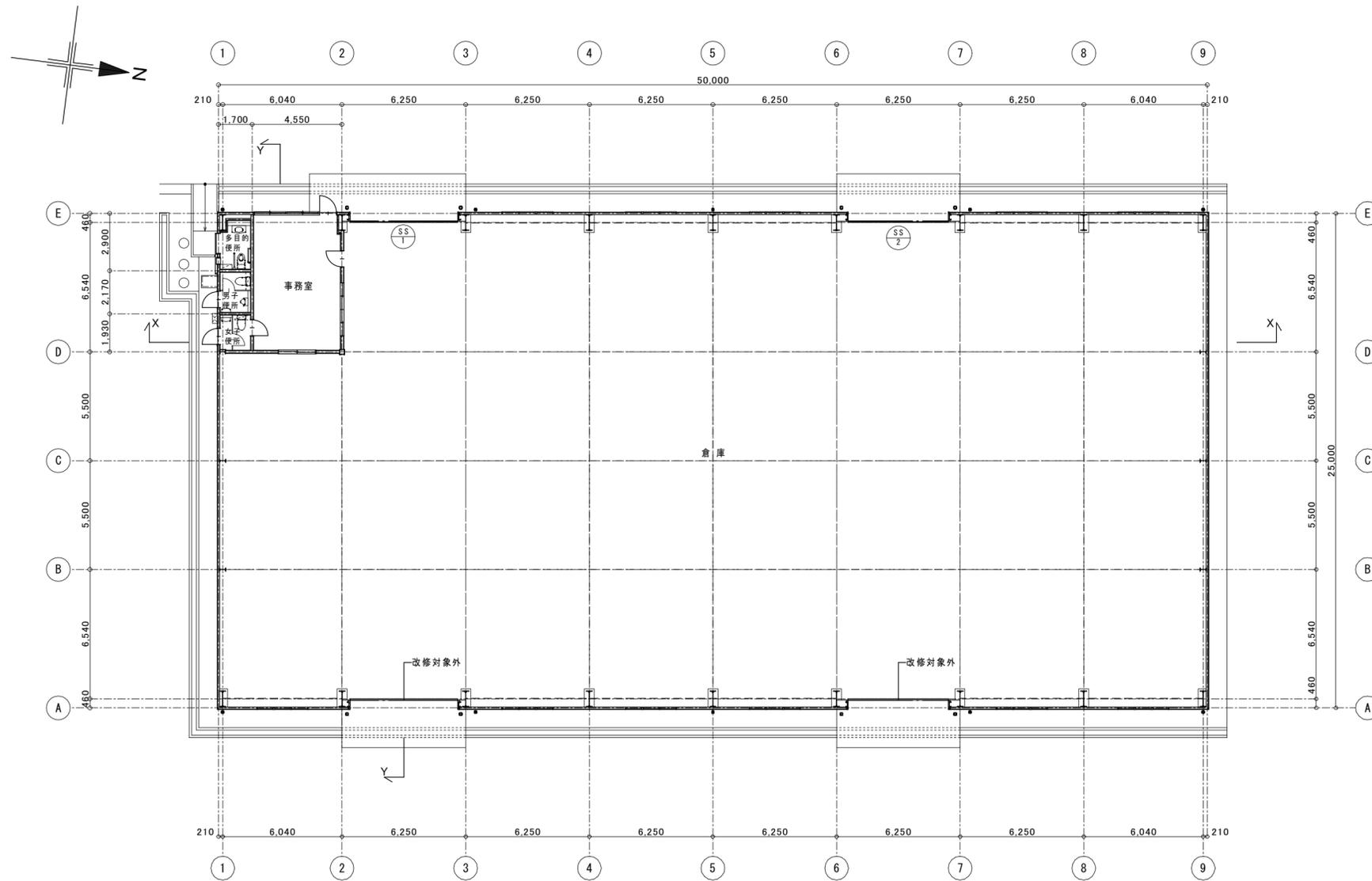


外部仕上表 (参考)

屋根	GLサ-鋼板t=0.8折板葺きH=166(※)トリス工法)、裏貼断熱材(不燃)t=8貼り	外壁	中空押出成型パネt=20横貼り(金具止め工法) コナ: 同材役物	軒樋	塩ビ製角樋 150型 ステンレス製組み金物
軒裏	折板裏表し(断熱材無し)	基礎・根廻り	モルタル塗り刷毛引き仕上げ	縦樋	VP100Φ ステンレス製組み金物
底	フッ素樹脂鋼板t=1.0折板葺きH=90(※)トリス工法)	犬走り	コンクリート金コテ押え	養生管	鋼管Φ139.8×4.5、H=2,000 溶融亜鉛メッキ

内部仕上表 (参考)

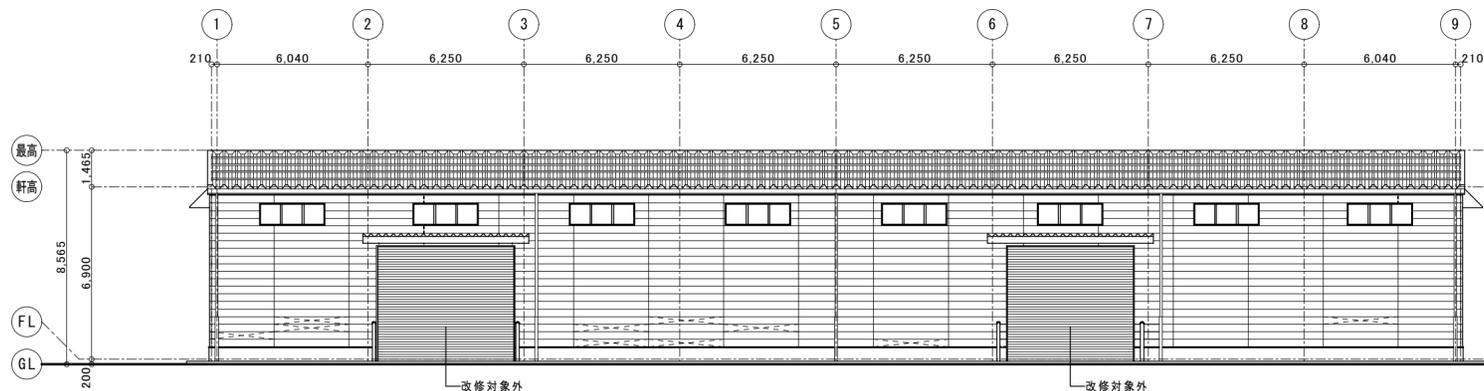
階	室名	床	巾木	腰壁	壁	天井	廻り縁	天井高	備考
1階	倉庫	コンクリート金コテ押え目地切、防塵塗料2回塗り	コンクリート打放し	モルタル塗り金コテ仕上げAEP塗り	鉄骨表し、荷摺木	折板裏表し			
	事務室	モルタル塗り金コテ仕上げ	木製巾木SOP塗り	モルタル塗り金コテ仕上げAEP塗り	モルタル塗り金コテ仕上げAEP塗り	LGS下地化粧石膏ボード9.0t張り	塩ビ製	2.500	
	男子便所	モルタル塗り金コテ仕上げ	木製巾木SOP塗り	モルタル塗り金コテ仕上げAEP塗り	石綿ケイ酸カルシウム板8.0t AEP塗り	LGS下地化粧石膏ボード9.0t張り	塩ビ製	2.300	
	女子便所	モルタル塗り金コテ仕上げ	木製巾木SOP塗り	モルタル塗り金コテ仕上げAEP塗り	石綿ケイ酸カルシウム板8.0t AEP塗り	LGS下地化粧石膏ボード9.0t張り	塩ビ製	2.300	
	多目的便所	モルタル塗り金コテ仕上げ	木製巾木SOP塗り	モルタル塗り金コテ仕上げAEP塗り	石綿ケイ酸カルシウム板8.0t AEP塗り	LGS下地化粧石膏ボード9.0t張り	塩ビ製	2.300	



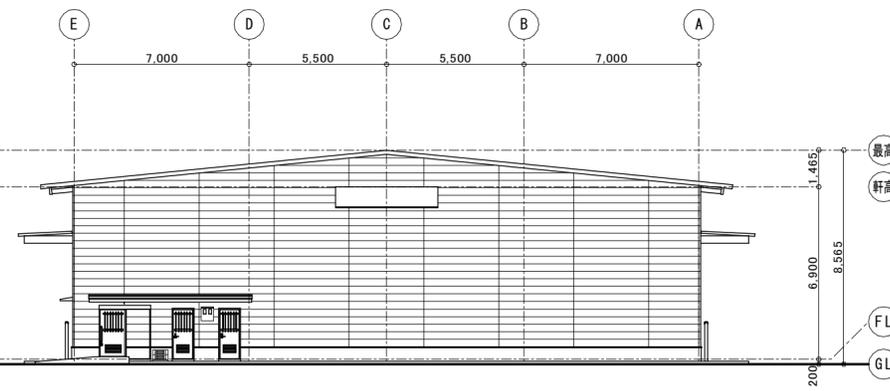
平面図兼建具配置図 S=1:200

凡例
 (SS) 改修対象建具を示す(建具表を参照)

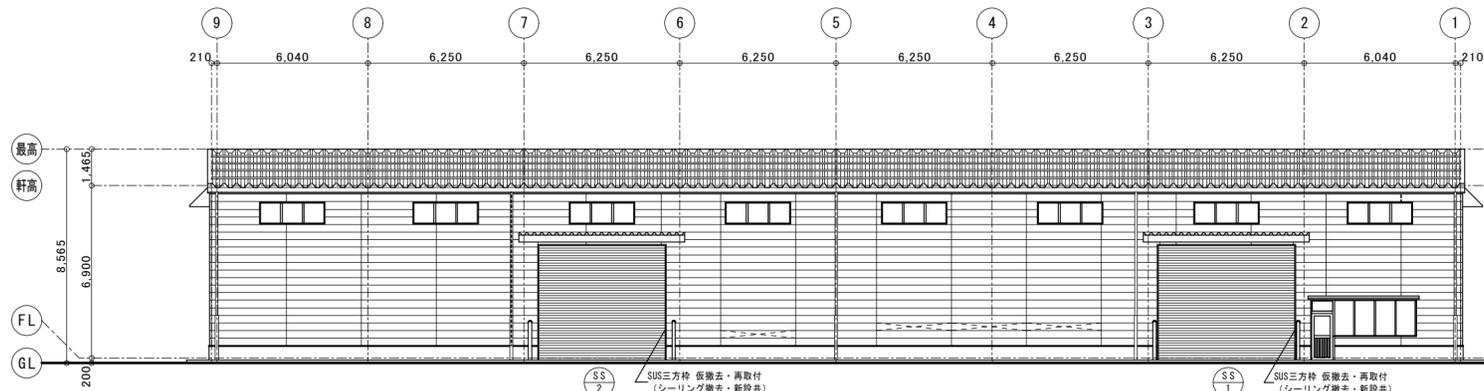




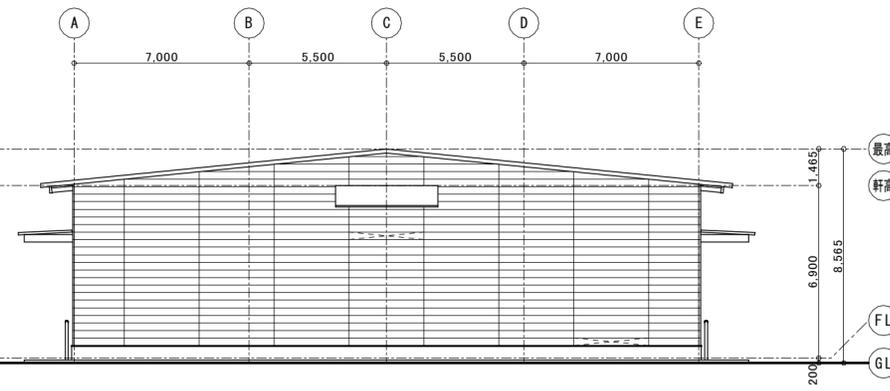
東側立面図 S=1:200



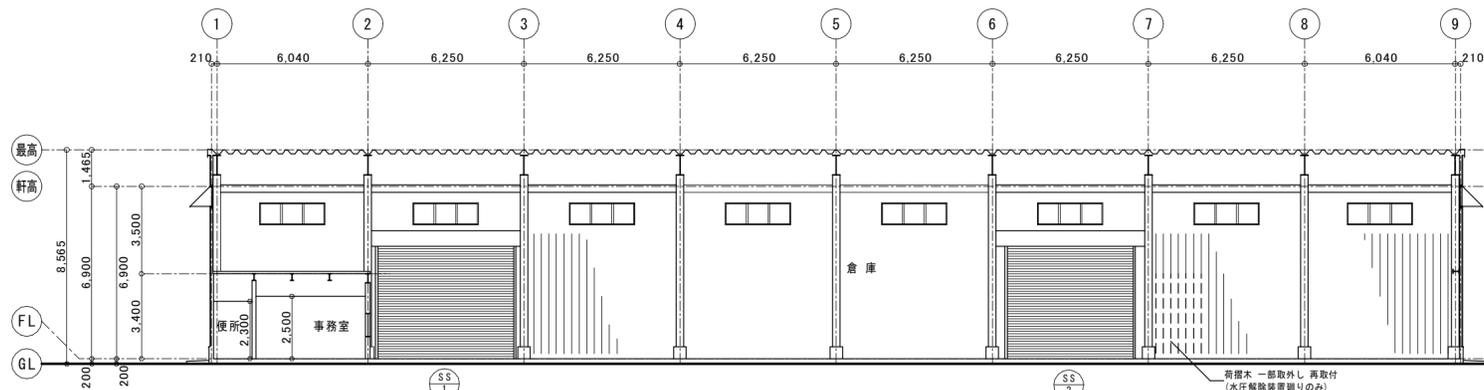
南側立面図 S=1:200



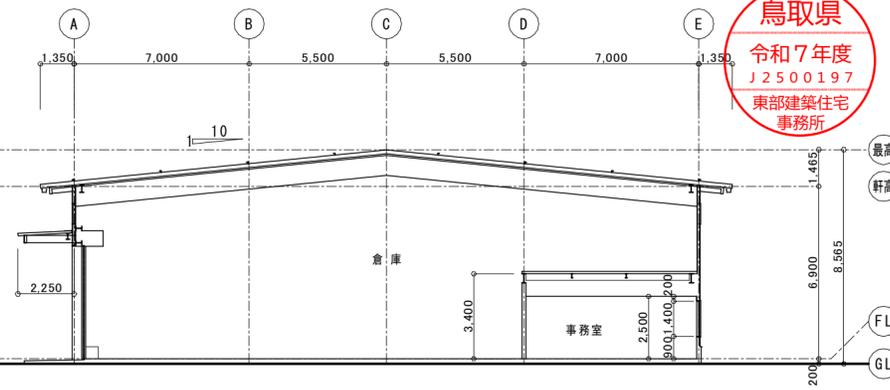
西側立面図 S=1:200



北側立面図 S=1:200



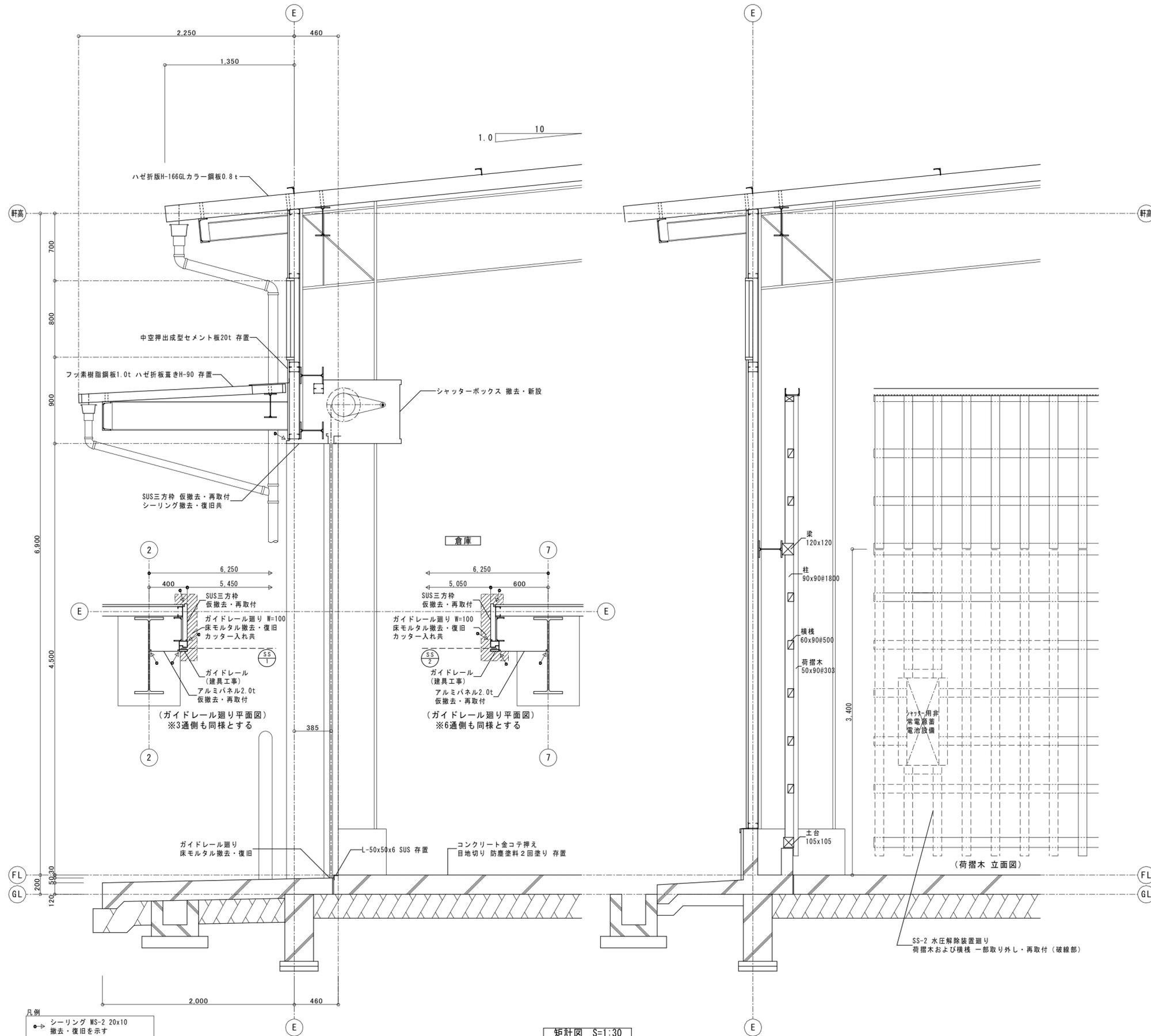
X-X断面図 S=1:200



Y-Y断面図 S=1:200

鳥取県
令和7年度
J2500197
東部建築住宅
事務所

凡例
SS 1 改修対象建具を示す (建具表を参照)



建具表 S=1:50

符号・数量	SS1 重量電動シャッター	1 箇所
姿 図	<p>【改修内容】既存電動重量シャッター撤去・本図建具を新設 (シャッター用二次側配線の取外し、復旧を含む)</p>	
型式・見込	S-76 スラット1.6t	
材質・仕上	熔融亜鉛メッキ鋼板 フッ素樹脂焼付塗装	
建具金物	SUSマグサ、SUS座板 (Tアングル)、SUSガイドレール (耐風圧型) 角ケース1.6t、SUSスイッチBOX、付属金物一式	
備 考	※SUSは全てSUS304とする。	
符号・数量	SS2 重量電動シャッター	1 箇所
姿 図	<p>【改修内容】既存電動重量シャッター撤去・本図建具を新設 (シャッター用二次側配線の取外し、復旧を含む)</p>	
型式・見込	S-76 スラット1.6t	
材質・仕上	熔融亜鉛メッキ鋼板 フッ素樹脂焼付塗装	
建具金物	SUSマグサ、SUS座板 (Tアングル)、SUSガイドレール (耐風圧型) 角ケース1.6t、SUSスイッチBOX、付属金物一式	
備 考	水圧解除装置 (送水口共) ※SUSは全てSUS304とする。	

矩計図 S=1:30

凡例
 シーリング MS-2 20x10
 撤去・復旧を示す

